

多摩地域のビジネスチャンスを拡大する 広域多摩イノベーションプラットフォーム

大手から中小企業まで、高い技術力を誇る製造業が集積する多摩地域。公益財団法人中小企業振興公社多摩支社が平成26年度から進める「広域多摩イノベーションプラットフォーム」について伺いました。

(公財)東京都中小企業振興公社多摩支社(以下、多摩支社)が主導する「広域多摩イノベーションプラットフォーム」。都産技研の多摩テクノプラザでは、多摩支社と連携し、中小企業支援を展開しています。

中小企業のネットワーク形成や マッチング支援を幅広く展開

平川 中小企業を中心に据えつつ、大手企業や大学、研究機関などを巻き込んだネットワーク形成やマッチング支援を行っているのが「広域多摩イノベーションプラットフォーム」です。特に今後の成長が見込まれる環境・健康福祉・危機管理などの分野に注力し、新規参入や新事業創出を支援しています。セミナーや勉強会、交流会などを開催し、そこから生まれた連携プロジェクトについては、事業化を目指して継続的なアドバイスも行っています。多摩テクノプラザへは、セミナーの講師を依頼するなど、技術面で常にご協力いただいています。

経営面と技術面からのサポートが不可欠

澤近 同事業では、AM^{*}(3Dプリンター)や海外展開支援についてのセミナーの講師を務めました。我々は、技術面での支援を行っていますが、ものづくりには資金などの経営資源も必要ですから、中小企業にとって、経営と技術の両方からのサポートは不可欠ですね。

平川 多摩地域では、昔のように大型受注だけでやっていける製造業が少なくなる中で、不安を感じている経営者の方が多くいらっしゃいます。私たちとしても都産技研と連携することで、そうした方々へのサポートを安心して行うことができると感じています。

^{*}Additive Manufacturing

立地のメリットを活かしたワンストップ・サポート

多摩支社と多摩テクノプラザは、多摩地域の産業支援拠点「産業サポートスクエア・TAMA」内に位置し、日頃から連携して中小企業を支援しています。

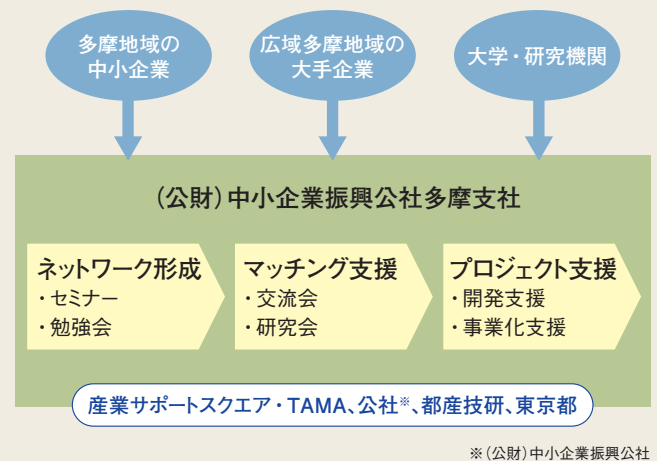


(公財)東京都
中小企業振興公社
多摩支社 支社長
平川 浩一氏



多摩テクノプラザ
所長
澤近 洋史氏

広域多摩イノベーションプラットフォーム事業の全体像



※(公財)中小企業振興公社

多摩テクノフェア開催

(産業サポートスクエア・TAMAウェルカムデー)

多摩テクノプラザにおける日頃の活動を知っていただくとともに、多くの方に気軽に科学技術に触れていただく「多摩テクノフェア」を開催します。

同時に「ウェルカムデー」として、産業サポートスクエア・TAMA内の5機関が、それぞれイベントを開催します。

日時：ビジネスデー
平成27年10月23日(金)10:00～17:00
ファミリーデー

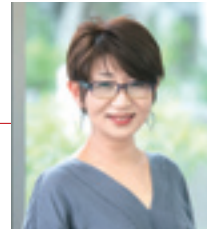
平成27年10月24日(土)10:00～16:00
会場：多摩テクノプラザ(昭島市東町3-6-1)

詳細は、都産技研ホームページをご覧ください。



東京都中小企業振興公社と 都産技研 多摩テクノプラザの活用

長年、多摩地域で製造業を営む経営者に、(公財)東京都中小企業振興公社多摩支社と多摩テクノプラザの活用方法について伺いました。



株式会社ミュートクノ
専務取締役
谷口 栄美子氏



泰興物産株式会社
開発部 部長
丸田 智子氏

「事業化チャレンジ道場」が、 下請け発想払拭のきっかけに

谷口 多摩支社には、日ごろから大変お世話になっています。現在も「事業化チャレンジ道場」という製品開発・事業化支援プロジェクトに参加しています。

丸田 以前、私も「事業化チャレンジ道場」に参加して、考え方を一から鍛え直していただきました。下請けの発想から抜け出し、自分で考える“脳力”を養うことができたこと感謝しています。

谷口 私もそうです。リーマンショック以前は、2次請け・3次請けが当たり前でしたが、多摩支社との出会いから社内の取り組みが大きく変わり、今では「リーマンショックがあって良かった!」と思えるほどになりました。

他社とのネットワークから 生まれる新たな刺激

丸田 私は、多いときには多摩テクノプラザへ週に2~3回足を運ぶほどのヘビーユーザーです。試作品製作に欠かせないAM(3Dプリンター)などの機器利用はもちろん、ちょっとした相談に

もすぐに対応いただけるのが多摩テクノプラザの魅力ですね。

谷口 当社は、平成20年度から都産技研が実施する異業種交流グループに参加しています。中小企業の経営者にとって、こうした他社とのつながりを持つ場は、貴重ですよ。

丸田 そうですね。当社も異業種交流グループには平成22年度から参加しています。「事業化チャレンジ道場」もそうですが、こうした場に参加される方々は、どなたもやる気に溢れ、意識の高い方が多い印象です。ですから、毎回とてもいい刺激をいただいています。また、仕事という枠を超えてつながりができ、気軽に相談できることも非常にありがたいですね。

国内はもちろん世界へ 「多摩ブランド」を発信

丸田 多摩地域は古くから製造業が集まっている土地で、その技術力は、大田区に勝るとも劣らないはず。なのに、“ものづくり”における多摩地域の知名度は、まだまだ低いように感じませんか。

谷口 そうですよ。そのためには、私

たち中小企業だけでなく、多摩支社と多摩テクノプラザが一丸となって「多摩ブランド」を、国内はもちろん、世界にPRしていく必要がありますね。



上
職人技術が活かされた
(株)ミュートクノの板金
加工製品



左
熊野化粧筆と泰興物産(株)
の技術が融合した洗顔ブラシ



泰興物産株式会社

代表者／代表取締役 丸田 陽

創業／昭和50年5月

所在地／東京都立川市錦町6-18-1

URL <http://www.tycoho.co.jp>

主な事業

射出成形のプラスチック加工を中心に、デザイン・企画開発から製造、在庫管理まで、最適なソリューションを提供。

株式会社ミュートクノ

代表者／代表取締役 松下 憲明

創業／平成2年7月

所在地／東京都日野市日野台1-18-6

URL <http://www.mutechno.co.jp>

主な事業

板金をメインとした金属加工業。高水準の技術力と迅速なレスポンス力で、試作から量産まで、あらゆるニーズに対応。